

2025年7月期 第1四半期
決算補足説明資料

2024.12.11



【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。
これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

業績ハイライト

セグメント別ハイライト

	ポイント
連結業績	<p>バイオものづくり革命推進事業への投資で研究開発費は前年同期比21.4%増。 9月から通信販売製品の15%値上げを実施し原価率改善。 短期金利上昇を見据え、借入残高を機動的に変動。資本収益性と投資機会の両面意識。</p>
BtoB事業	<p>明治薬品、ドラッグストア向けニューモ取扱い開始、自社ブランド製品の販路拡大を継続。 10月の伊藤忠商事との資本業務提携後、機能性素材・製品の複数プロジェクト始動。</p>
BtoC事業	<p>医薬品ニューZ堅調により、育毛剤とあわせニューモブランド全体としてQonQで34.5万件へ増加。 医薬品ハスV受注増で生産追いつかず広告期ずれ発生も、広告宣伝費QonQ+15億円。</p>
バイオメディカル事業	<p>田辺三菱製薬に導出した抗体医薬品候補に関して、第I相臨床試験が開始。その他、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対して、画期的な治療薬をいち早く開発する体制を目指す。</p>
中期経営計画2026 新価値創造 1K	<p>次世代サステナブル繊維「オボヴェール」、第7回エコプロアワード優秀賞受賞。環境面のみならず、社会面・経済面でも高い評価。</p>

連結売上高

単位:百万円

	2024年7月期 第1四半期	2025年7月期 第1四半期	増減
BtoB事業	2,233	1,900	▲14.9%
BtoC事業	13,846	12,636	▲8.7%
バイオメディカル事業	57	58	+2.0%
その他	4	1	▲68.8%
合計	16,142	14,596	▲9.6%

連結営業利益

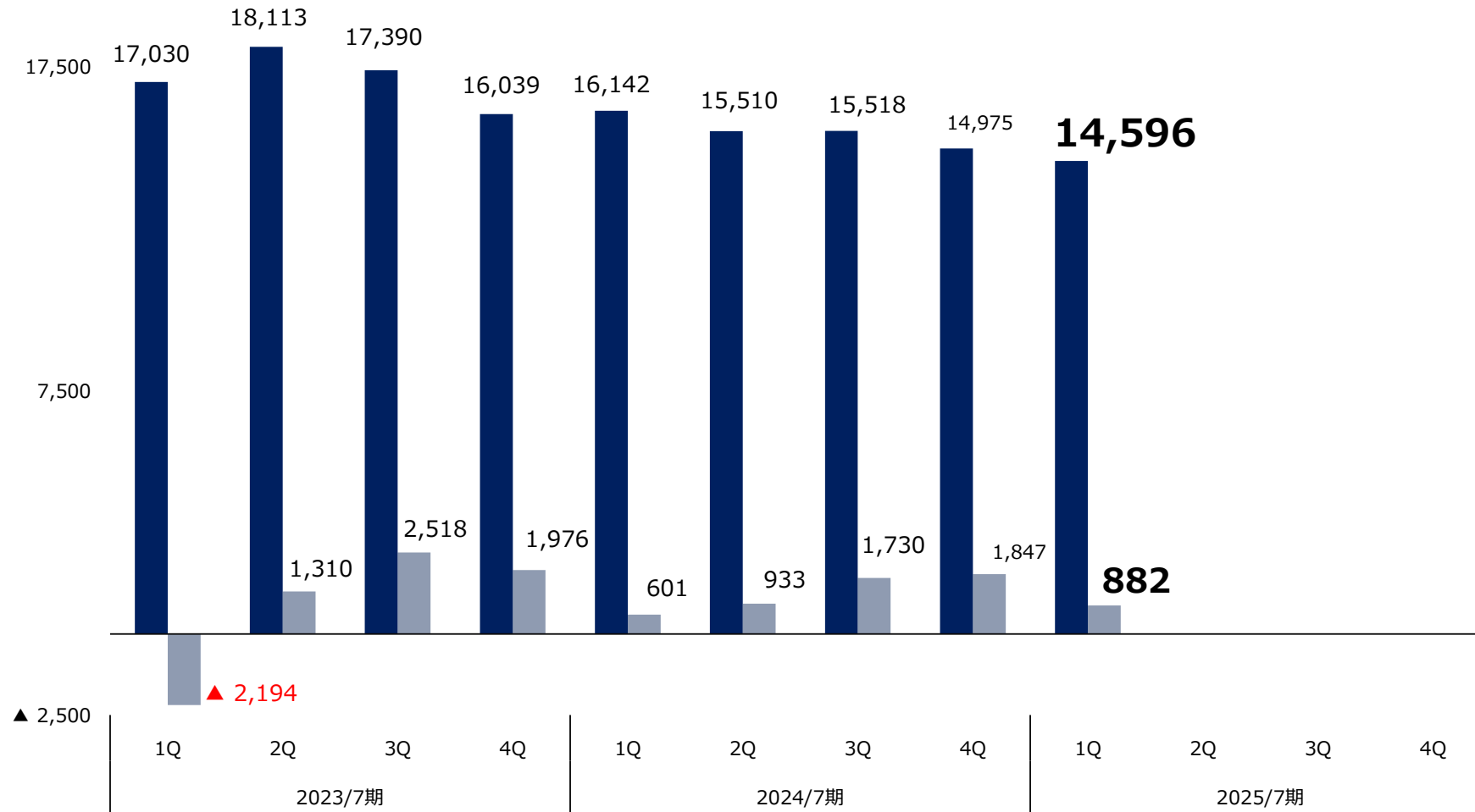
単位:百万円

	2024年7月期 第1四半期	2025年7月期 第1四半期	増減
BtoB事業	461	363	▲21.1%
BtoC事業	616	1,108	+80.0%
バイオメディカル事業	▲121	▲97	+23
その他	▲4	▲4	+0
調整額(全社費用等)	▲349	▲488	▲138
合計	601	882	+46.7%

四半期業績推移

■ 売上高 ■ 営業損益

単位:百万円



売上高は計画通りの進捗を達成。QonQでの研究開発費・広告宣伝費増額も、安定した黒字を達成。

BtoB事業

カテゴリー別売上高

単位:百万円

	2023/7期					2024/7期					2025/7期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
機能性素材	375	440	564	620	2,002	504	441	729	912	2,588	674				674
機能性製品	289	484	449	145	1,368	199	172	153	215	741	106				106
CMO	892	1,104	1,076	1,117	4,190	1,151	1,068	1,175	1,251	4,646	836				836
CHC	312	172	294	78	857	377	254	277	221	1,130	282				282
合計	1,869	2,201	2,384	1,962	8,418	2,233	1,938	2,336	2,600	9,108	1,900				1,900

- ※ 機能性素材 : PharmaGABA、ボーンペップ等
- ※ 機能性製品 : OEM、越境EC、自社ブランド製品などの最終製品を主にBto[BtoC]チャンネルで販売
- ※ CMO(Contract Manufacturing Organization) : 医薬品製造受託機関
- ※ CHC(Consumer Health Care) : ドラッグストアでの医薬品及び機能性食品等の販売

機能性素材は「ファーマギャバ」が海外で好調継続。

CMOは、前期末の前倒し受注の影響で反動減。中長期的な受託案件の拡大に向け、営業活動を強化。

CHCは、ドラッグストア専売の「ニューモ育毛剤」を新たに開発するなど、流通チャンネルの拡大に注力。

機能性表示食品受理件数

関与成分別受理件数ランキング

(件)

順位	機能性関与成分	受理数
1	GABA	1,264
2	難消化性デキストリン	510
3	ルテイン・ゼアキサンチン	472
4	ビフィズス菌	452
5	DHA/EPA	372
6	ブラックジンジャー由来ポリメトキシフラボン	363
7	イチョウ葉(フラボノイド配糖体、テルペンラクトン)	213
8	アスタキサンチン	195
9	葛の花由来イソフラボン	183
10	L-テアニン	166

2024.11.27現在 当社調べ

ドラッグストア向けニューモ育毛剤 販売開始



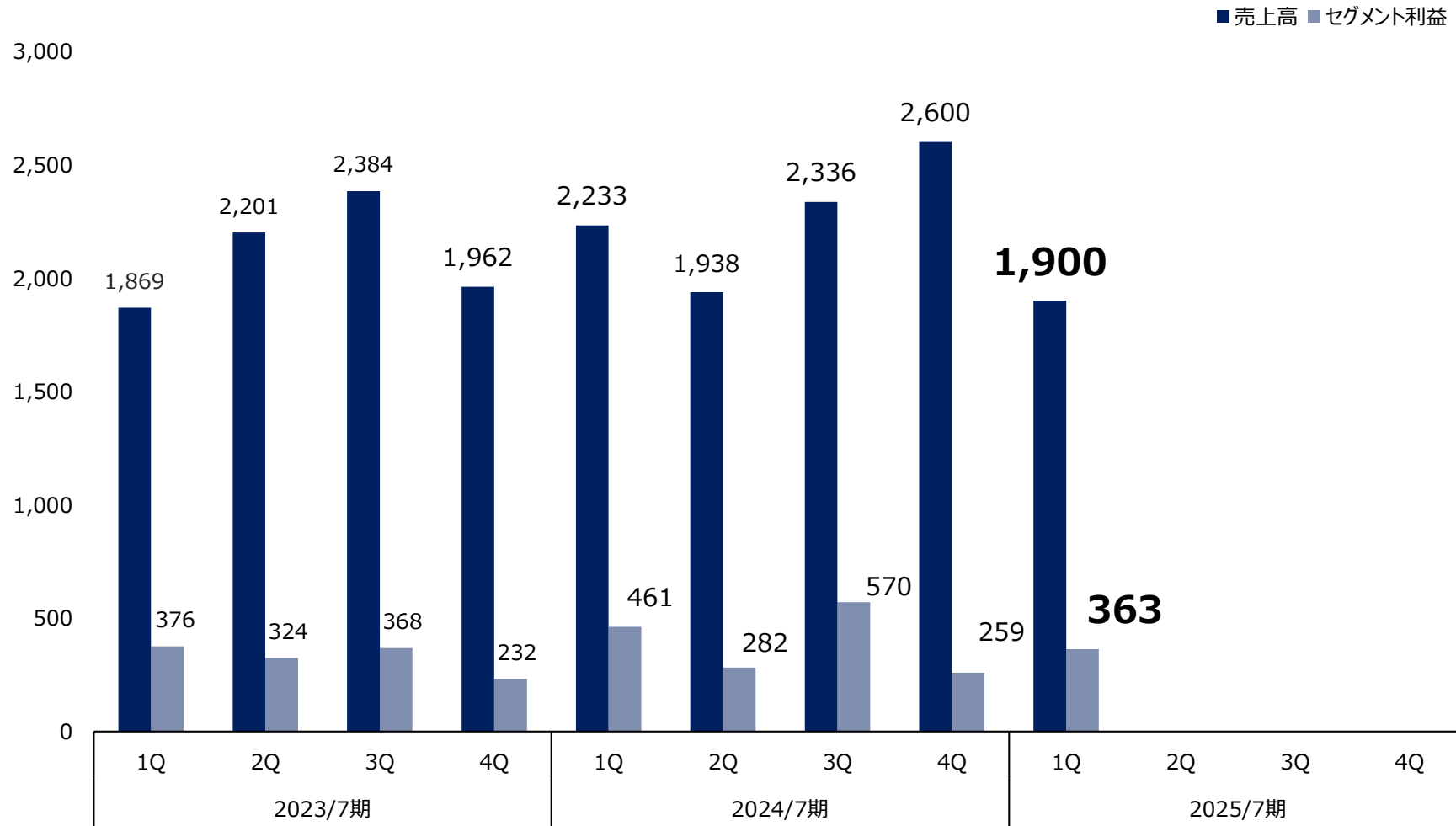
最上部の棚を確保するなど、小売り店舗の期待が高い

ヘアケア製品の棚に並ぶニューモ育毛剤(イオン葛西店内薬局)

自社ブランド製品のドラッグストアチャンネルでの販売拡大に注力。

四半期業績推移

単位:百万円



前年同期比マイナスも計画通りの進捗。コンビニ・ドラッグストアなどでの販売拡大に引き続き注力。

BtoC事業

新製品の開発、プロモーションに注力

「HGP」「オボハイブリッド
ファイバー」配合

漢方薬「加味逍遙散」

卵殻素材「ランコール」配合

リンス不要の
オールインワンシャンプー



”眉毛”美容液
マロンナ



第2類医薬品
てんらい清心錠



機能性快眠枕
MAC R(マックアール)



KURUB
クリームシャンプー

明治薬品の医薬品新製品が好調

定期顧客件数 **1.3** 万件超 2024.12.9現在

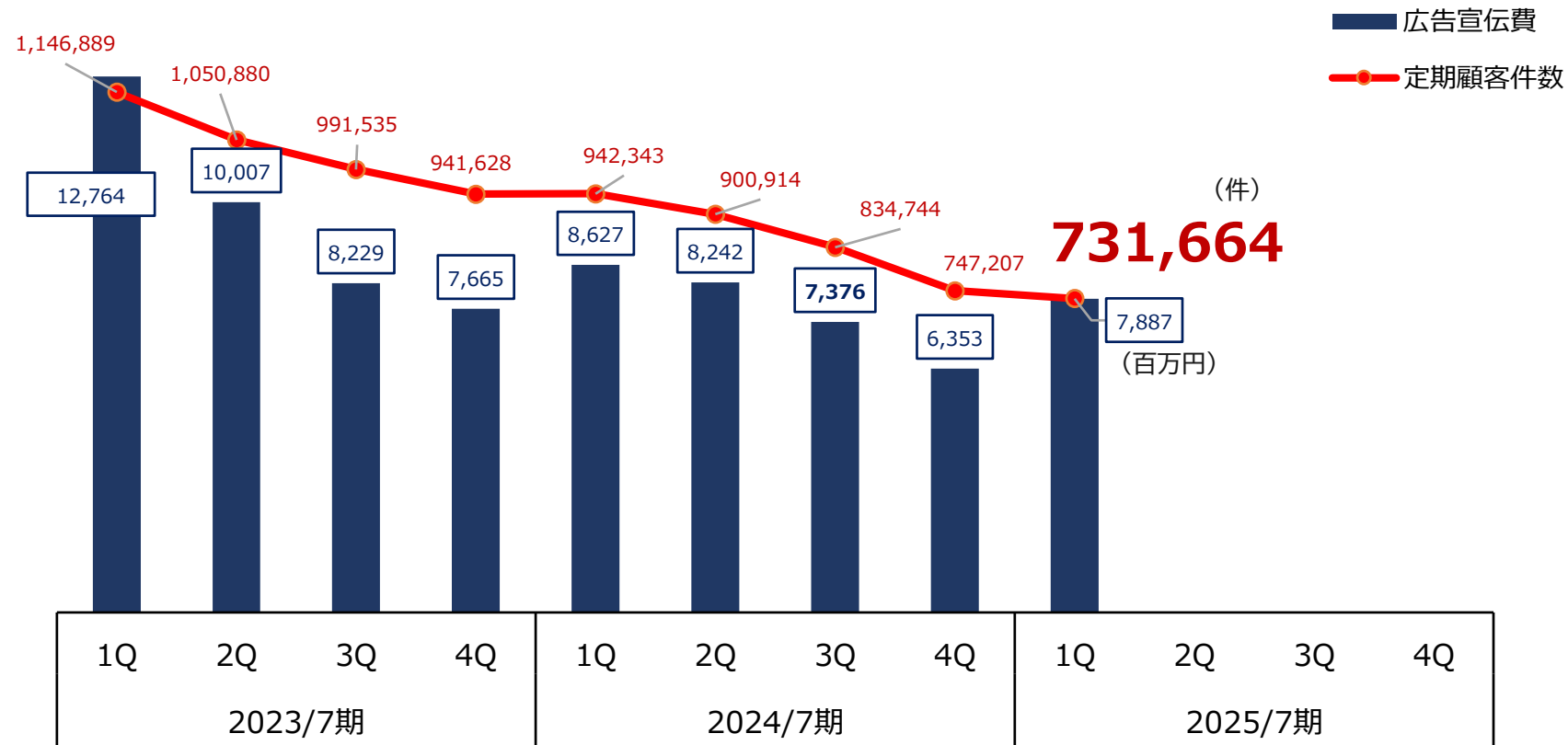


第3類医薬品
ヘルспанC錠2000



第2類医薬品
ノルクスK錠

広告宣伝費と定期顧客件数



主要製品の定期顧客件数

化粧品

まつげ美容液	: 34,218
カラーシャンプー	: 17,252

医薬品・医薬部外品

ニューモ育毛剤	: 255,931
ニューZ	: 90,044
キュラシリーズ	: 70,075
ラクトロン錠	: 43,785
ドンホワイドン	: 18,821

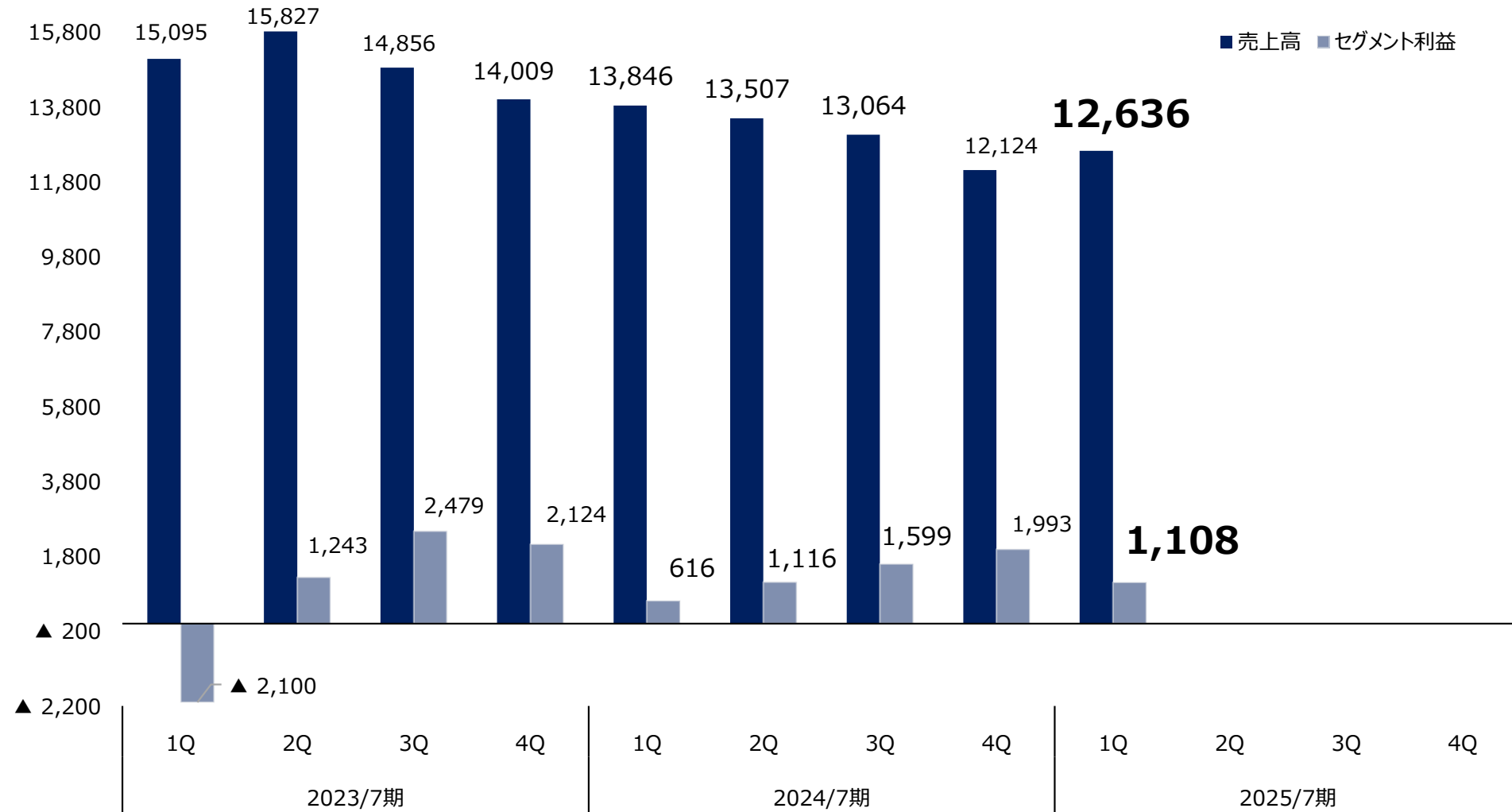
サプリメント

シボラナイト2	: 38,195
タマゴサミン	: 23,651

医薬品ニューZが受注好調により、ニューモブランド全体として純増。
 新製品育成と同時に、医薬品ハスV(ファイブ)など、プロモーションにより再浮上期待できるアイテムも。

四半期業績推移

単位:百万円



広告投資が復調傾向でQonQでの増収達成。新製品及び広告効率の高い製品へのプロモーションに引き続き注力。

バイオメディカル事業

田辺三菱製薬に導出した抗体医薬品候補に関して、第 I 相臨床試験が開始

田辺三菱製薬に導出した抗体医薬品候補※に関して、同社による第 I 相臨床試験が開始されました。(臨床試験ID:jRCT2031240187)

本試験は、健康成人男性志願者を対象とした臨床薬理試験で、本抗体医薬品候補を投与した際の安全性、忍容性及び薬物動態を検討するために行われます。

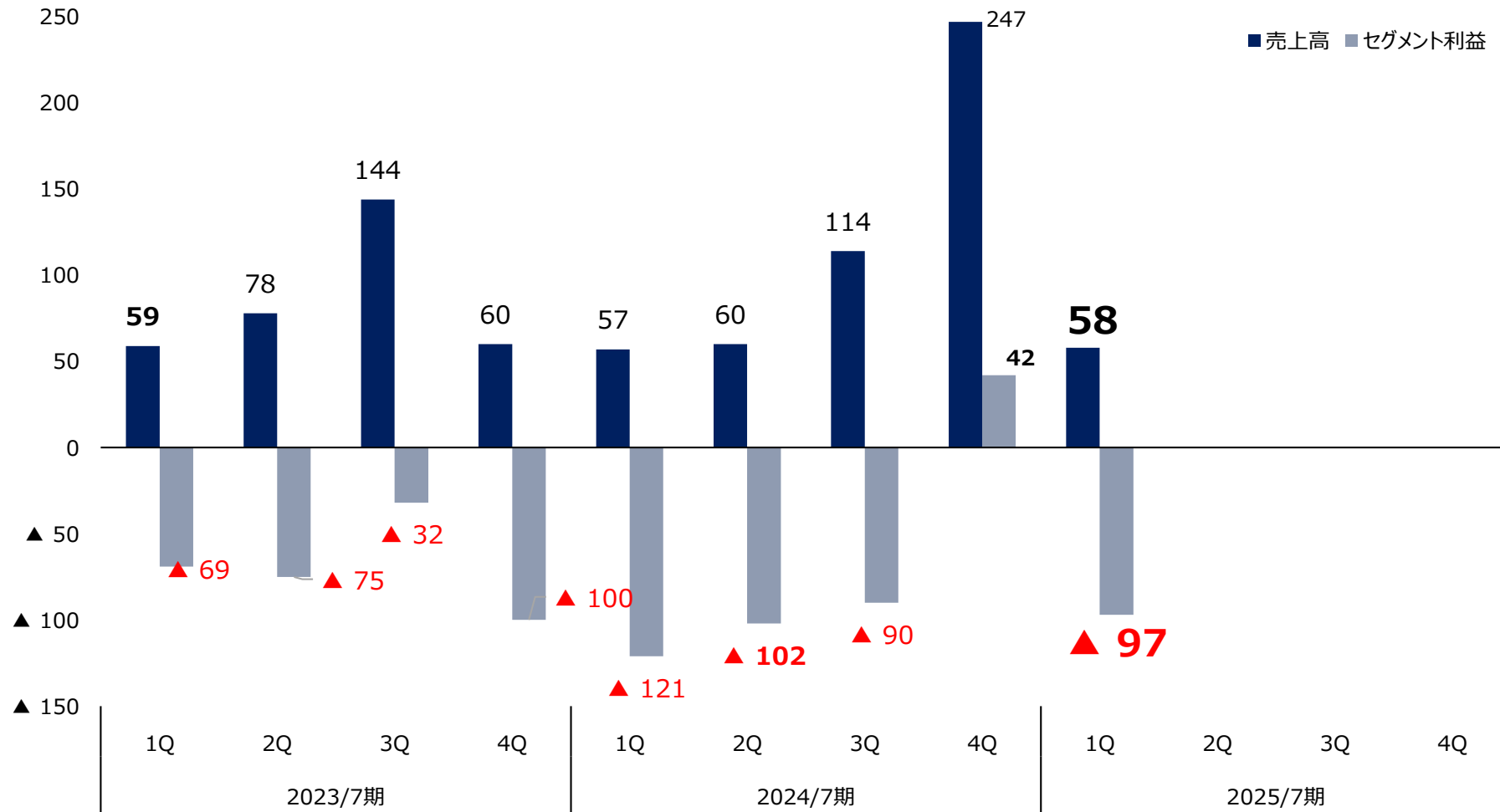
本試験に関する詳細情報は、臨床研究等提出・公開システム(jRCT)等に公開されております。

※当社独自の抗体作製技術「ALAgene® technology(アラジン テクノロジー)」を用い、自己免疫疾患を対象に田辺三菱製薬と共同開発した抗体医薬品候補。



四半期業績推移

単位:百万円



非臨床開発基盤の構築を行いながら、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対して、画期的な治療薬をいち早く開発する体制を目指す。

中期経営計画2026の進捗

2024年10月 伊藤忠商事との資本業務提携

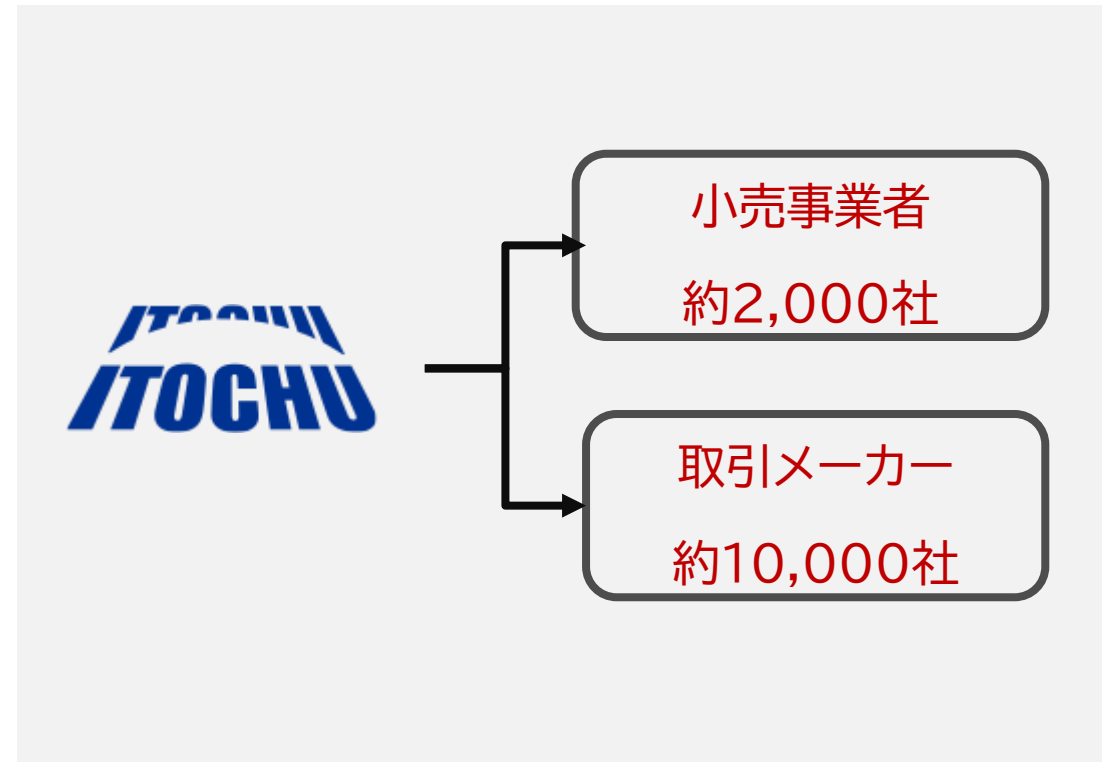
伊藤忠商事が持つネットワークを通じて、機能性素材・機能性製品を国内・海外市場へ販売



機能性素材・機能性製品



流通ニーズをフィードバック
人材リソース・ノウハウ等の提供



卵殻膜繊維「ovoveil」に注目、環境・経済・社会面に高い評価

ovoveil®

ITMC※2024にて登壇

第7回エコプロアワード※優秀賞



講演する代表取締役 金 武祚

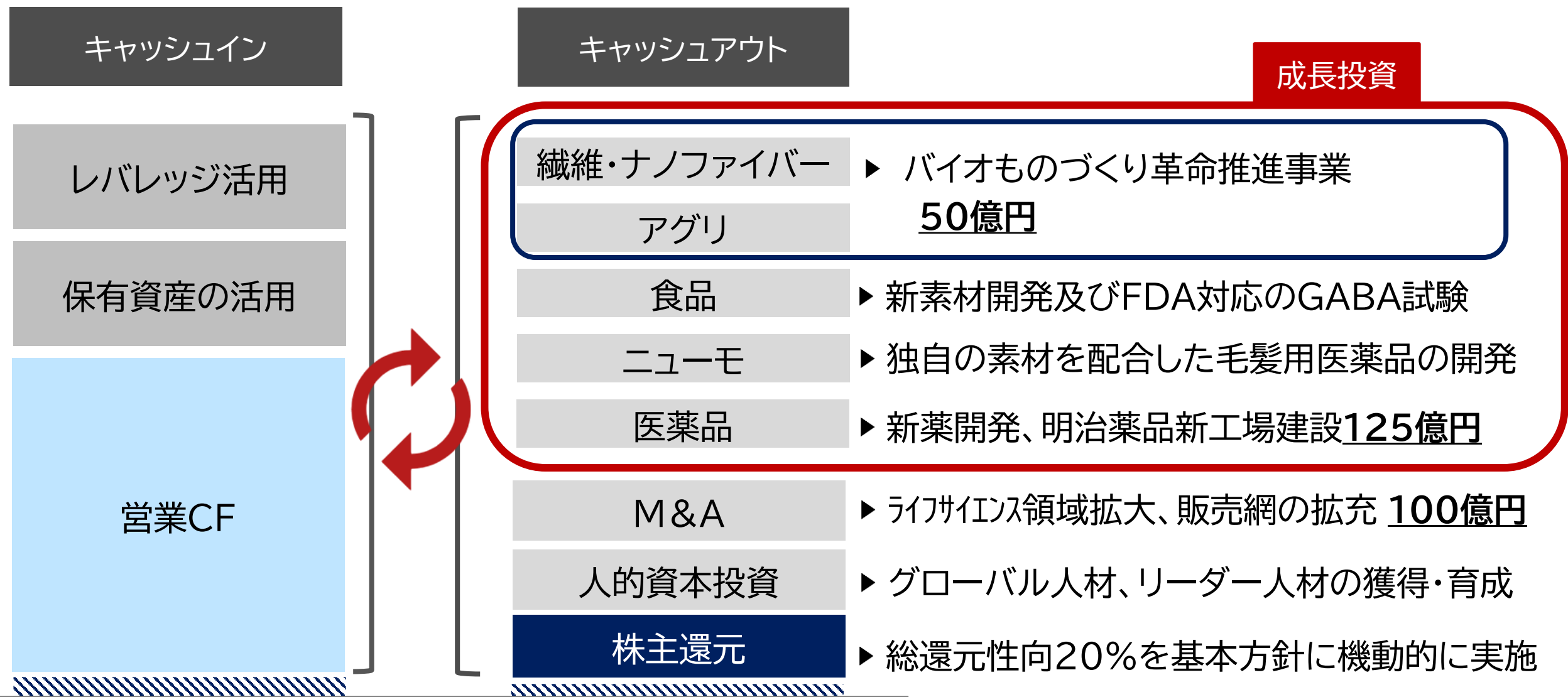


左:ファーマフーズ開発部次長・古賀啓太
右:サステナブル経営推進機構・梅田審査委員長

※繊維産業の国際会議
Intelligent Textile and Mass-Customization

※主催:一般社団法人サステナブル経営推進機構

今後5年間で300億円規模の挑戦的な投資を開始



▼ 投資成果による営業CFの増加分を事業投資と株主還元へ再配分

2025年7月期の業績予想について

挑戦的な投資を開始していく

単位:百万円

	2024年 7月期	2025年7月期 予想
売上高	62,147	65,000
営業利益	5,113	2,000
経常利益	5,249	2,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,205	1,600

2024年9月12日発表した
業績予想値から変更なし

「2025大阪・関西万博」、「経産省・卵殻膜バイオものづくり事業」、「FDA Gras対応試験」、「新成分配合医薬品ニューモ開発」など、将来への投資を開始していく。

株主還元

	2024年 7月期	2025年 7月期予想
一株あたり 年間配当金	25円	25円
配当金総額	7.01億円	7.01億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	32.05億円	16.00億円
配当性向	21.9%	43.9% ※
自己株式取得	10億円	—
総還元性向	53.1%	43.9% ※

2024年9月12日発表した
業績予想値から変更なし

※ 2024年9月12日発表の業績予想
の親会社株主に帰属する当期純利益
に基づく

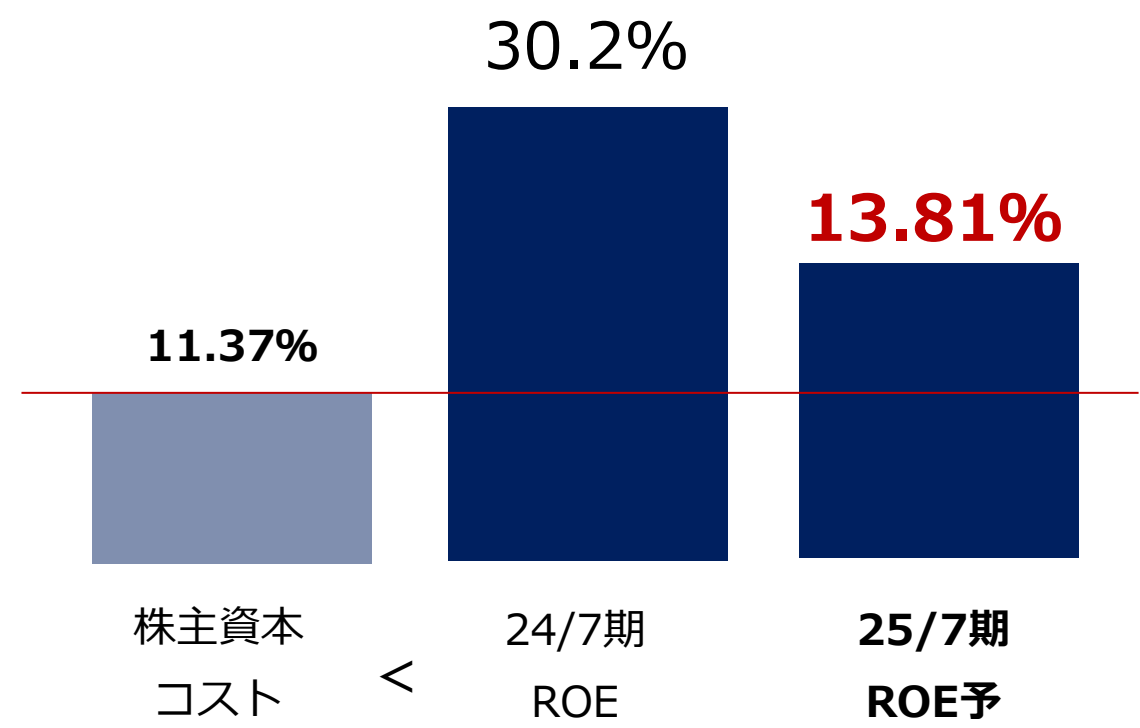
株主還元方針

当社は、企業の成長性と収益性を両立させる事業方針の下、研究開発、広告宣伝及びM&A等に対する積極的な投資を拡大させながら、株主様に対する還元策として配当等を積極的に充実させていくことを基本方針としております。
この方針の下、成長投資の推進、財務健全性の確保及び株主還元の強化のバランスを考慮し、自己株式取得を含む総還元性向20%を株主還元策の目安としております。

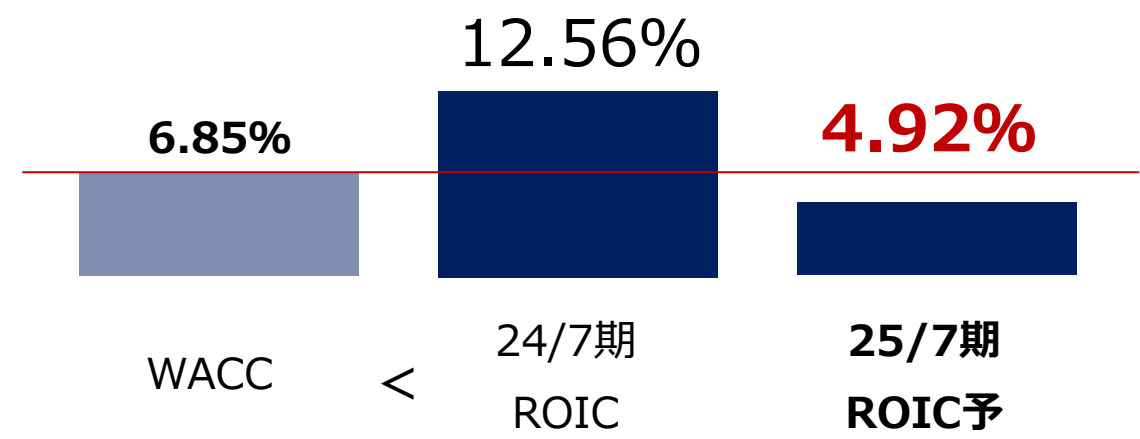
資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

現状評価①資本収益性

ROE

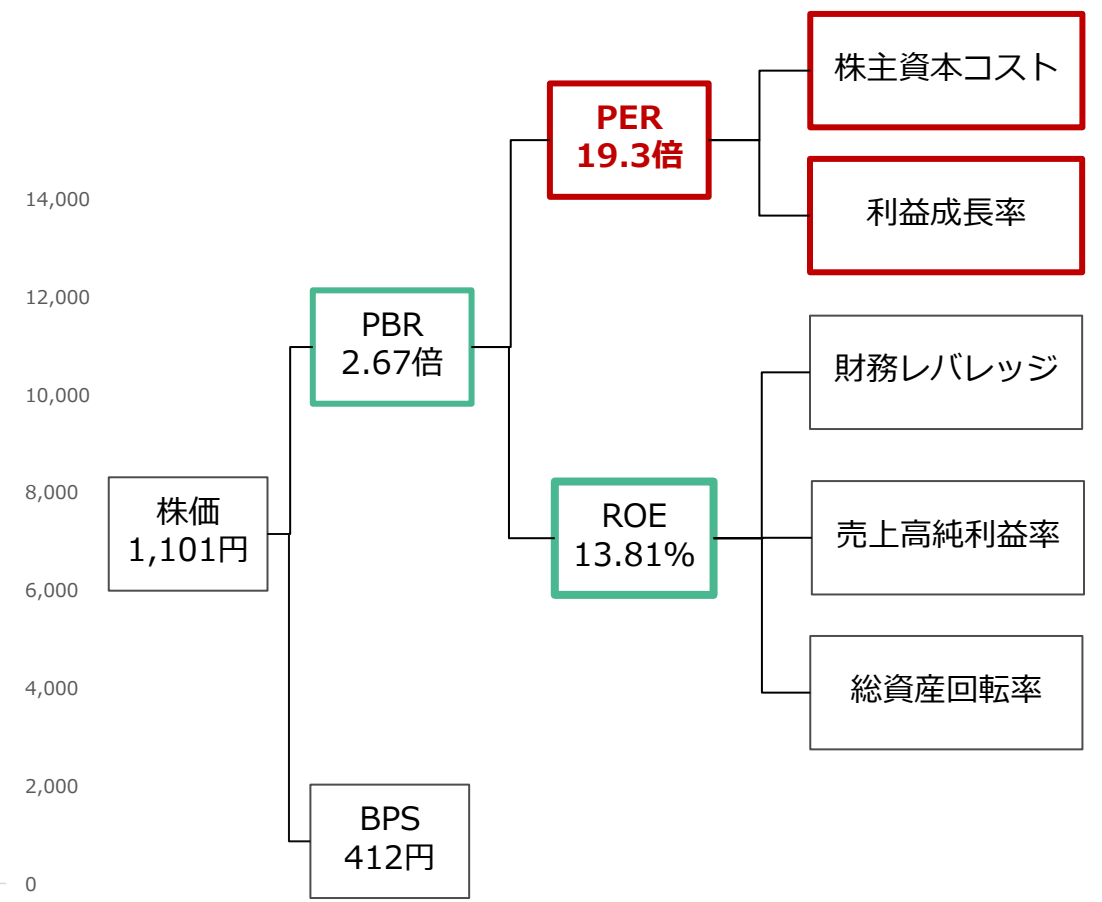
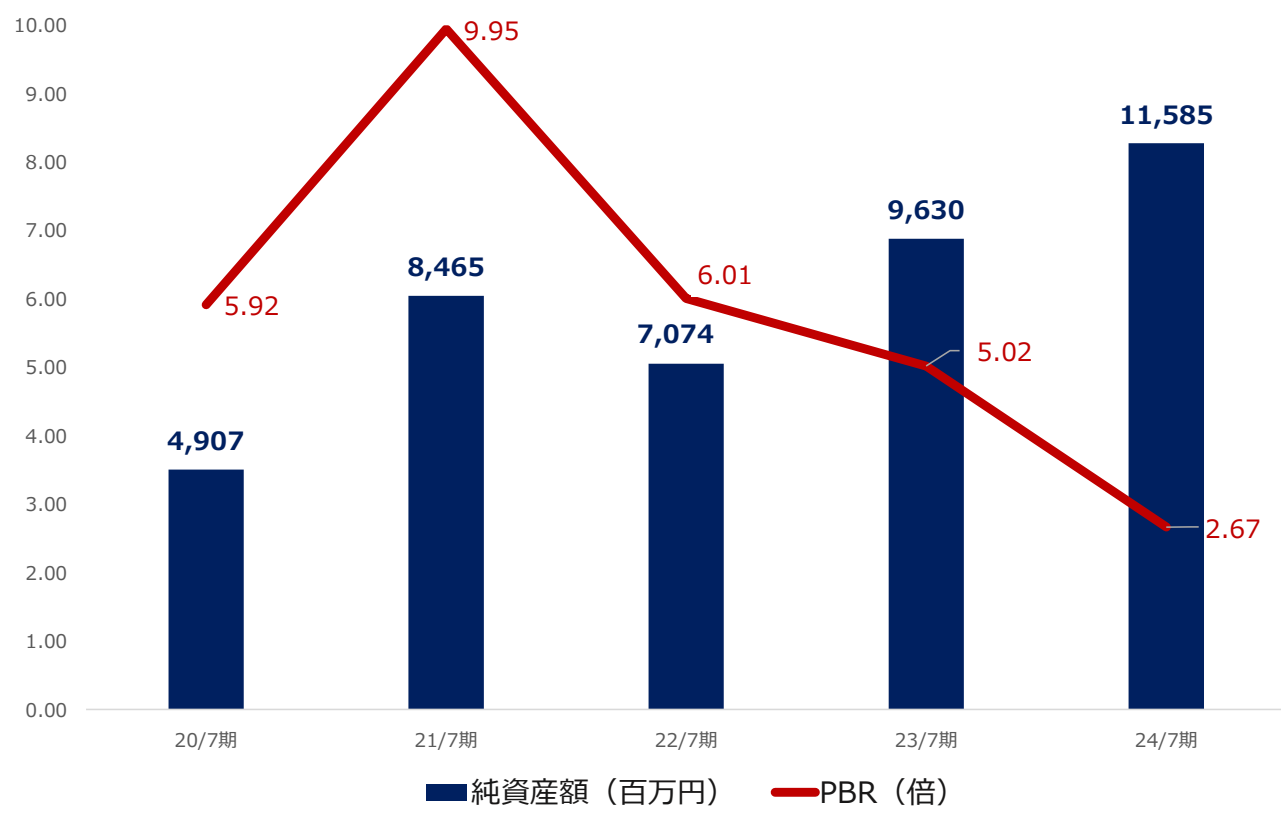


ROIC



ROEは株主資本コストを充分上回る。ROICは有利子負債管理で改善余地がある。

現状評価②PBR



※株価は2024年7月31日現在
 ※指標は2024年7月31日残高を基準
 ※利益率は通期予想値

資本収益性は比較的高い水準だが、株価上昇のためにはPERをさらに高めていく必要がある

企業価値向上に向けた取り組み方針

方針

ROICの向上

資本収益性を高める財務バランスの追求

顧客基盤を活かしたCRM施策の強化による収益獲得

株主資本コストの低減

新規事業の育成及びM&A・アライアンスによる事業ポートフォリオの再構築

伊藤忠商事との資本業務提携

市場との対話機会の増加及び非財務情報開示の充実

2025年1月 ネット証券での
オンライン会社説明会を開催

成長期待を高める

研究開発投資、設備投資、人的資本への投資を増加させる

5年で300億円規模の投資

M&Aを活用しながら、ヘルスケア企業としての評価を高める

代表者自らがM&Aのソーシング
に陣頭指揮